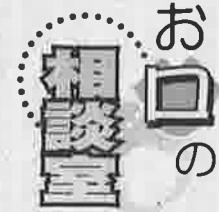


神経取った歯によく発生



枯れ木のようになり、通常の歯よりも、もろくなってしまう。そのような状態になると、普通のかみ合わせの力でも歯根破折が起こります。就寝中の歯ぎしりなどで、

さらに強い力が歯にかかる。より起こりやすくなります。また最近では、普段から上下の歯が接触した状態(歯牙接触癖)も原因の一つと考えられるようになりました。

歯科医院では、メンテナンスの際に歯の動揺度の確認や、かみ合わせの検査をして細心の注意を払いますが、残念ながら歯根破折、抜歯となるケースもあります。それでも、

大きなむし歯で神経を取る事態にならないよう、定期的なメンテナンスは重要です。歯ぎしり、食いしばりのある方にはマウスピースの使用を勧めます。よくかむこと固いものを積極的に食べることを混同しないことも大切です。

しばらく歯科を受診していない方は、お近くの歯科医院を訪ねてはいかがでしょうか。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-1800、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので、参考にしてください。

【問い】差し歯が取れたため、かかりつけの歯科を受診したところ、歯の根が割れていて「歯根破折」と診断され抜歯になってしまいました。歯根破折は定期的に通院してメンテナンス(点検・治療)していても起こるもののでしょうか？ (長崎市、53歳男性)

歯の根が割れた



回答者 白石 はじめ
長崎市諏訪町
はじめ歯科クリニック院長

【答え】歯根破折は歯の根の部分にひびが入ったり、割れてしまったりした状態のことです。▽差し歯が外れる▽歯肉が腫れる▽かむときに痛みなどの症状が出ます。近年は定期的なメンテナンスのため通院する方が増加していますが、初期の歯根破折は通常の検査による確認が困難で発見できないことが多く、予防も難しい現状です。

公益財団法人8020推進財団の永久歯の調査によると、むし歯や歯周病で抜歯になる歯の割合は、以前と比べ減少しています。反面、歯根破折のため抜歯になる歯の割合は増加傾向にあります。

歯根破折は、ほとんどが失活歯(神経を取った歯)に起こります。歯の神経を取ると栄養が行き渡らなくなり、歯質の水分量が低下して